

平成22年度第3四半期報告

メディケア生命保険株式会社（社長 寺崎 啓介）の平成22年度第3四半期の業績は添付のとおりです。

※資料中、「第3四半期累計期間」は「4月1日～12月31日」を、「第3四半期会計期間」は「10月1日～12月31日」を表しております。

<目次>

1. 主要業績	……1頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	……3頁
3. 四半期貸借対照表	……5頁
4. 四半期損益計算書	……6頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	……8頁
6. ソルベンシー・マージン比率	……9頁
7. 特別勘定の状況	……9頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	……9頁
（参考）第3四半期会計期間の業績	……10頁
（参考）証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況	……12頁

以上

お問い合わせは、次にお問い合わせいたします。

メディケア生命保険株式会社 経営管理部

03-5621-3310

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高 (単位：件、百万円)

区 分	平成22年度第3四半期会計期間末	
	件 数	金 額
個 人 保 険	4,566	—
個 人 年 金 保 険	—	—
団 体 保 険	—	—
団 体 年 金 保 険	—	—

・新契約高 (単位：件、百万円)

区 分	平成22年度第3四半期累計期間			
	件 数	金 額		
			新契約	転換による 純増加
個 人 保 険	4,608	—	—	—
個 人 年 金 保 険	—	—	—	—
団 体 保 険	—	—	—	—
団 体 年 金 保 険	—	—	—	—

(2) 年換算保険料

・保有契約 (単位：百万円)

区 分	平成22年度 第3四半期 会計期間末
個 人 保 険	182
個 人 年 金 保 険	—
合 計	182
うち医療保障・ 生前給付保障等	182

・新契約 (単位：百万円)

区 分	平成22年度 第3四半期 累計期間
個 人 保 険	184
個 人 年 金 保 険	—
合 計	184
うち医療保障・ 生前給付保障等	184

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です。
2. 医療保障・生前給付保障等については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績（一般勘定）

（1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	平成22年度 第3四半期会計期間末	
	金 額	占 率
現 預 金・コ ー ル ロ ー ン	1,014	4.3
買 現 先 勘 定	—	—
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—
商 品 有 価 証 券	—	—
金 銭 の 信 託	—	—
有 価 証 券	20,997	89.2
公 社 債	20,997	89.2
株 式	—	—
外 国 証 券	—	—
公 社 債	—	—
株 式 等	—	—
そ の 他 の 証 券	—	—
貸 付 金	—	—
不 動 産	33	0.1
繰 延 税 金 資 産	—	—
そ の 他	1,496	6.4
貸 倒 引 当 金	—	—
合 計	23,542	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	—	—

（注）不動産については建物の金額を計上しております。

(2) 有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

（単位：百万円）

区 分	平成22年度第3四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差損益	差益	
				差益	差損
満期保有目的の債券	—	—	—	—	—
責任準備金対応債券	—	—	—	—	—
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—
その他有価証券	20,784	20,997	213	213	△ 0
公 社 債	20,784	20,997	213	213	△ 0
株 式	—	—	—	—	—
外 国 証 券	—	—	—	—	—
公 社 債	—	—	—	—	—
株 式 等	—	—	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—
合 計	20,784	20,997	213	213	△ 0
公 社 債	20,784	20,997	213	213	△ 0
株 式	—	—	—	—	—
外 国 証 券	—	—	—	—	—
公 社 債	—	—	—	—	—
株 式 等	—	—	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—

（注）本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるものを含んでいます。

- ・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は保有しておりません。

(3) 金銭の信託の時価情報

該当事項はありません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	平成22年度 第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日現在)
		金 額
(資 産 の 部)		
現 金 及 び 預 貯 金		1,014
有 価 証 券		20,997
(うち 国 債)		(20,997)
有 形 固 定 資 産		129
無 形 固 定 資 産		1,093
そ の 他 資 産		306
資 産 の 部 合 計		23,542
(負 債 の 部)		
保 険 契 約 準 備 金		13
支 払 備 金		0
責 任 準 備 金		12
代 理 店 借		44
そ の 他 負 債		182
未 払 法 人 税 等		2
そ の 他 の 負 債		179
賞 与 引 当 金		17
価 格 変 動 準 備 金		4
繰 延 税 金 負 債		77
負 債 の 部 合 計		339
(純 資 産 の 部)		
資 本 金		12,500
資 本 剰 余 金		12,500
資 本 準 備 金		12,500
利 益 剰 余 金		△ 1,932
そ の 他 利 益 剰 余 金		△ 1,932
繰 越 利 益 剰 余 金		△ 1,932
株 主 資 本 合 計		23,067
その他有価証券評価差額金		136
評価・換算差額等合計		136
純 資 産 の 部 合 計		23,203
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計		23,542

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	平成22年度 第3四半期累計期間 〔平成22年 4月 1日から 平成22年12月31日まで〕
		金 額
経 常 収 益		138
保 険 料 等 収 入 (うち保険料)		58 (58)
資 産 運 用 収 益 (うち利息及び配当金等収入)		79 (79)
そ の 他 経 常 収 益		0
経 常 費 用		1,557
保 険 金 等 支 払 金 (うち給付金)		2 (2)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		13
支 払 備 金 繰 入 額		0
責 任 準 備 金 繰 入 額		12
事 業 費		1,187
そ の 他 経 常 費 用		354
経 常 損 失		1,418
特 別 損 失		4
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		4
税 引 前 四 半 期 純 損 失		1,422
法 人 税 及 び 住 民 税		2
四 半 期 純 損 失		1,425

注記事項

(四半期貸借対照表関係)

平成22年度第3四半期会計期間末	
1. 重要な会計処理の原則及び手続の変更	<p>当第3四半期累計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(平成20年3月31日 企業会計基準委員会 企業会計基準第18号)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(平成20年3月31日 企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第21号)を適用しております。</p> <p>これに伴う損益の影響はありません。</p> <p>(追加情報)</p> <p>当第3四半期累計期間より、平成22年4月1日から営業開始したことに伴い新たな会計処理を採用したものは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 有価証券(国債)の評価基準及び評価方法 その他有価証券については期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価の算定は移動平均法)によっております。なお、評価差額については全部純資産直入法により処理しております。(2) 責任準備金の積立方法 責任準備金は保険業法第116条の規定に基づく準備金であり、保険料積立金については保険業法施行規則第69条第4項第4号の規定に基づく5年チルメル式により計算しております。(3) 価格変動準備金の計上方法 価格変動準備金は保険業法第115条の規定に準じて算出した額を計上しております。
2. 簡便的な会計処理及び四半期特有の会計処理	<p>定率法を採用している有形固定資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。</p>
3. 有形固定資産の減価償却累計額	<p>有形固定資産の減価償却累計額は、70百万円であります。</p>
4. 発行済株式の種類及び総数に関する事項	<p>当第3四半期会計期間末の発行済株式 普通株式 250,000株</p> <p>なお、自己株式は保有しておりません。</p>
5. 1株当たり純資産	<p>1株当たりの純資産は、92,813円17銭であります。</p>
6. 株主資本の金額の著しい変動	<p>当社は、平成22年4月1日付で住友生命保険相互会社及び三井生命保険株式会社から株主割当による増資の払い込みを受けております。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が11,000百万円、資本準備金が11,000百万円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が12,500百万円、資本準備金が12,500百万円となっております。</p>
7. 有価証券の金額の著しい変動	<p>その他有価証券で時価のあるものについて、四半期貸借対照表計上額に前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められます。その取得原価は20,784百万円、四半期貸借対照表計上額は20,997百万円、差額は213百万円となっております。</p>

注記事項

(四半期損益計算書関係)

平成22年度第3四半期累計期間	
1. 1株当たり四半期純損失	<p>1株当たり四半期純損失は、5,702円91銭であります。</p>

5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

		平成22年度 第3四半期累計期間
基礎利益	A	△ 1,411
キャピタル収益		—
キャピタル費用		—
キャピタル損益	B	—
キャピタル損益含み基礎利益	A + B	△ 1,411
臨時収益		—
臨時費用		7
危険準備金繰入額		7
臨時損益	C	△ 7
経常利益	A + B + C	△ 1,418

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	平成22年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	23,271
資本金等	23,067
価格変動準備金	4
危険準備金	7
一般貸倒引当金	—
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	192
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	0
持込資本金等	—
負債性資本調達手段等	—
控除項目	—
その他	—
リスクの合計額	162
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	
保険リスク相当額 R_1	—
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	7
予定利率リスク相当額 R_2	0
資産運用リスク相当額 R_3	157
経営管理リスク相当額 R_4	4
最低保証リスク相当額 R_7	—
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	28,692.0%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条及び第87条、並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています(全期チルメル式責任準備金相当額超過額は告示第50号第1条第3項第1号に基づいて算出しています)。

7. 特別勘定の状況

該当事項はありません。

8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当事項はありません。

(参考) 第3四半期会計期間の業績

・新契約高

(単位：件、百万円)

区 分	平成22年度第3四半期会計期間			
	件 数	金 額		
			新契約	転換による 純増加
個 人 保 険	2,193	—	—	—
個 人 年 金 保 険	—	—	—	—
団 体 保 険	—	—	—	—
団 体 年 金 保 険	—	—	—	—

・新契約年換算保険料 (単位：百万円)

区 分	平成22年度 第3四半期 会計期間
個 人 保 険	88
個 人 年 金 保 険	—
合 計	88
うち医療保障・ 生前給付保障等	88

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です。
2. 医療保障・生前給付保障等については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

・経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

		平成22年度 第3四半期会計期間
基礎利益	A	△ 476
キャピタル収益		—
キャピタル費用		—
キャピタル損益	B	—
キャピタル損益含み基礎利益	A + B	△ 476
臨時収益		—
臨時費用		3
危険準備金繰入額		3
臨時損益	C	△ 3
経常利益	A + B + C	△ 479

・損益計算書

（単位：百万円）

科 目	期 別	平成22年度 第3四半期会計期間 〔平成22年10月 1日から 平成22年12月31日まで〕
		金 額
経 常 収 益		68
保 険 料 等 収 入		37
（うち保険料）		（ 37 ）
資 産 運 用 収 益		30
（うち利息及び配当金等収入）		（ 30 ）
そ の 他 経 常 収 益		—
経 常 費 用		548
保 険 金 等 支 払 金		1
（うち給付金）		（ 1 ）
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		6
支 払 備 金 繰 入 額		0
責 任 準 備 金 繰 入 額		5
事 業 費		443
そ の 他 経 常 費 用		96
経 常 損 失		479
特 別 利 益		0
価 格 変 動 準 備 金 戻 入 額		0
税 引 前 四 半 期 純 損 失		479
法 人 税 及 び 住 民 税		0
四 半 期 純 損 失		480

(参考) 証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

平成22年度第3四半期末の証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況は以下のとおりです。

1. 投資状況

- (1) 特別目的事業体 (SPEs) 一般
特別目的事業体 (SPEs) への投資はありません。
- (2) 債務担保証券 (CDO)
債務担保証券 (CDO) の取引・残高はありません。
- (3) その他のサブプライム・Alt-A エクスポージャー
サブプライム・Alt-A エクスポージャーを裏付資産とした証券化商品等の取引・残高はありません。
- (4) 商業用不動産担保証券 (CMBS)
商業用不動産担保証券 (CMBS) の取引・残高はありません。
- (5) レバレッジド・ファイナンス
レバレッジド・ファイナンスの取引・残高はありません。
- (6) その他の証券化商品等
取引・残高はありません。

2. その他関連情報

子会社等におけるサブプライム・ローン関連商品への投資はありません。

<各種証券化商品の用語について>

CDO : Collateralized Debt Obligation (債務担保証券)

CMBS : Commercial Mortgage-Backed Securities (商業用不動産担保証券)

SPE : Special Purpose Entity (特別目的事業体)